

報告

第 28 回中国・四国地区天文教育研究会報告

～天文教育普及研究会 中国四国支部集会～

山根弘也（呉市かまがり天体観測館）

1. はじめに

2019年12月7日（土）・8日（日）に主催を本会中国四国支部、共催を香川大学教育学部、会場を香川大学（高松市）として、第28回中国・四国地区天文教育研究会（2019年度中国四国支部集会）を開催しました。今回は、同県内にあり、開館から3年を迎えた望遠鏡博物館についての招待講演会を1日目に開催しました。参加者は35名、発表は10件（うち招待講演1件）でした。

2. 内容

12月7日（土）

■13:00 開会行事（挨拶、自己紹介など）

■13:30 招待講演

☆「天体望遠鏡博物館の過去、現在、未来」
村山昇作さん（天体望遠鏡博物館）

■14:45 研究発表1 座長：戸田博之
☆「身近なデジタル機器で

まだまだ使える天体望遠鏡」

繪堂 晃（宇部天文同好会）

☆「天文教育普及に寄与する

データ解析天文学へのお誘い」

森 好平

☆「学校現場での天文教育の実践報告」

有地正男（広島県立可部高等学校）

☆「Mitaka / VR を活用した天文普及活動」

松井瀬奈（岡山理科大学 生物地球研究会）

■16:15 事務協議（支部会員）・諸連絡

■18:00 懇親会

12月8日（日）

■9:00 事務連絡等



図1 竹内幹蔵さんの発表の様子

■9:10 研究発表2 座長：山根弘也
☆「国旗の中の星」

竹内幹蔵（島根県立三瓶自然館）

☆「Astronomy Education:

Bridging Research & Practice 参加報告」

松村雅文（香川大学教育学部）

☆「大学生活における地域での天文教育普及活動」

伊藤 心（愛媛大学）

☆「分光器 DSS-7 と Alpy600 の性能評価の比較」

安藤和子（岡山理科大学）

☆「ケプラー方程式による惑星軌道計算

—シミュレータ作成教育—」

佐々井祐二（津山工業高等専門学校）

■11:00 閉会行事・諸連絡

■11:30 エクスカーション

天体望遠鏡博物館

<オプションルツアー>

さぬきこどもの国

実行委員：松村雅文（委員長）、竹内幹蔵、
伏見賢一、森 好平、山根弘也

3. 招待講演

2016年3月にオープンした天体望遠鏡博物館（香川県さぬき市：旧多和小学校）について、過去、現在、未来に分けて、代表理事の村山昇作さんにご講演いただきました。

まず、これまでの経緯についてお話いただきました。村山さん自身が子供の頃に花山天文台で天体望遠鏡（30cm 屈折）に出会った話から始まり、初めて望遠鏡を手にした時のことや東京在住の頃に八ヶ岳に個人の天文台を作った時のこと、四国へ移られ天文台建設の構想があったことなどを聴きました。そして、公開天文台の閉鎖が相次いだ頃に様々な歴史やストーリーを持つ望遠鏡たちを廃棄せず後世へ残すべきだと考えるようになったそうです。2007年に立ち上げた「天体望遠鏡を文化遺産として残す会」では栃木県立高原山少年自然の家にあった口径40cm反射望遠鏡を第一号として、たくさん（現在では300台以上）の望遠鏡が集まり、世界初の“天体望遠鏡の”博物館を創る構想へと発展していったとのことでした。その後、四国全土をめぐる博物館の場所を探した末、現在博物館が設置されている多和地区へと辿り着いたそうです。

次に、現在の博物館の運営や活動についてのお話がありました。運営費が会費と企業を中心とした協賛金で賄われていることや登録ボランティアスタッフ数が100名もおられることなどに大変驚きました。また、村山さんが望遠鏡に興味を持つきっかけとなった花山天文台の望遠鏡は、長らく行方不明になっていたようですが、調査→探索→発見を経て現在では望遠鏡博物館に寄託されており、修復中とのことでした。巡り巡って始まりに戻ってくるとはとても面白いご縁だと思いました。

最後に今後の展望や課題についてお話を聴き、講演会は終了となりました。

4. 一般発表

天文教育普及研究会の会員より6件、非会員より3件の発表がありました。内容はバラエティに富んでいましたが、どれも天文教育普及に繋がる発表ばかりでした。特に竹内さんの「国旗の中の星」はそれぞれに様々な背景があり、天文・歴史・宗教・政治などが絡みあって、とても興味深く聴かせていただきました。また、会場からも様々な意見や質問が出され、活発な意見交換をすることができました。



図2 エクスカーションでの集合写真

5. おわりに

今回は例年に比べ参加者が多く、岡山理科大学をはじめとして、特に学生の参加が多かった回でした。また、講演会でお話を聴いた場所に次の日に（エクスカーションで）訪れたので、実に有意義な時間を過ごすことができました。これからも中国四国支部の特徴を發揮しながら、天文教育普及活動がさらに盛り上がるよう、支部メンバーで協力していきたいと思います。

最後に今回の支部集会を開催するにあたり、多大なご協力をいただいた香川大学、天体望遠鏡博物館の方々にはこの場を借りてお礼申し上げます。